

公表:令和3年3月23日

事業所名:放課後等デイサービス事業所 輝なっせ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	0	☐ 子どもたちが十分に スペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	100	0	0	☐ 基準通り配置し、専門職(理学療法士)を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100	0	0	☐ 指導訓練室の入口付近が狭く、車椅子児童の通りにくさがある。その他に関しては、バリアフリー化ができています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100	0	0	☐ 毎日、PDCAサイクルを意識して打ち合わせ(目標設定)や振り返り等を行って。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	0	☐ 12月にガイドライン評価とは別でアンケート調査を行った。その中で出た意見に関しては、職員間で話し、改善方法を検討中。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100	0	0	☐ 法人ホームページで前年度は公開している。今年度も公開予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100	0	0	☐ 今年度、第三者評価の実施はなかった。 ☐ 日々、支援を行う中で出た意見や課題に関しては、職員間で共有し、改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	☐ 法人内外で参加する機会が設定されている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	☐ 年度初めにアセスメントを行い、課題抽出をし個別支援計画書の作成を行っている。今年度は、中間評価を行い、目標や支援内容の見直しも行った。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75	25	0	☐ アセスメントシートを作成し、情報収集を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0	☐ 毎日、打ち合わせと振り返りを行い、利用児が楽しみながら課題クリアができるようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	☐ 季節や月行事などを含めて月間プログラムを作成している。その中で、定着や見通しを持てるよう、同じ活動を繰り返し設定する場合もある。 ☐ 活動を決める中では、利用児の意見を聞き翌月に取り入れる場合もある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100	0	0	☐ 平日にできる活動、休日にできる活動をそれぞれに合わせて計画し、楽しめるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	☐ アセスメントを行い、個別支援計画書を作成している。また、個別支援計画書を基に個々に合ったサービス計画を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	☐ 毎日行う打ち合わせや振り返りを基に準備を行い、準備中に変更したい部分があれば、その都度スタッフ間で共有し支援統一、役割分担を行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100	0	0	☐ 支援翌日に振り返りを行い、個々の課題、原因、工夫をスタッフ間で話し、共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	☐ 振り返り、打ち合わせシートを作成し、誰が記録しても統一した内容を残せるようにしている。また、振り返りで出た内容は、内容に合わせて検証、改善できるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	0	☐ 個別支援計画書作成時や評価作成時に、スタッフ間で計画の見直し、変更等を行っている。また、支援の際に気になることがあれば、その都度ご家族に確認し、個別支援計画書や評価に反映させている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	100	0	0	☐ 個別支援計画書を基に、ガイドラインの基本活動を個別またはグループ活動と組み合わせている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	☐ 相談支援事業所とは、情報共有がしやすい環境であり、必要に応じて会議等を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100	0	0	☐ 相談支援事業所とは、情報共有がしやすい環境であり、必要に応じて会議等を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	100	0	☐ 医療的ケア児の受け入れを行っていないため、看護師の配置もしていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	25	75	0	☐ 相談支援員を含め、児童発達支援事業所との情報共有や引継ぎは密に行っている。その際、保育所、幼稚園、認定こども園での様子なども聞き取っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100	0	0	☐ 感染対策として参加できなかった会議に関しては、紙面にて情報提供書を作成し、提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100	0	0	☐ 地域療育センターゆうづ主催の勉強会へ参加。また、3ヶ月に1回随時支援にて助言をもらっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	100	☐ 感染症予防の観点から、今年度は実施できていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	50	0	50	☐ ㉖と同様、感染症予防の観点から、参加できる回数が少なかった。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	0	☐ 連絡帳でのやり取りに加え、電話やLINE、または送迎の際に療育での様子や家庭での様子を話し、共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	25	75	☐ ㉖と同様、感染症予防の観点から、実施できていない。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0	0	☐ 契約時に必ず説明を行っている。次年度は、報酬改定に基づき、再度説明を行う。 ☐ 支援内容については、日々の連絡帳や送迎時に様子等を伝えている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	☐ 個別支援計画書内に地域支援、家族支援を入れ、日頃から情報交換を行い、家庭生活に反映できるよう努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25	0	75	☐ 今年度は、感染予防対策として、保護者参加型の療育や保護者会の開催ができなかった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	☐ 窓口を設置し、苦情解決委員会と管理者を含め対応を検討し、情報共有に努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	☐ 毎月のお便りにて周知している。 ☐ 法人内のホームページにて活動の様子を掲載している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	☐ 写真掲載等を行う際は、必ずご家族の同意をもらっている。また、個人情報に関する同意書をもらい、取り扱いには十分注意している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	0	☐ ②⑧と同様
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	25	75	☐ 感染予防対策として、地域の方と交流する機会を設けることができていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75	25	0	☐ 各マニュアルは作成し、職員間への周知は行っている。しかし、ご家族への周知は不十分な為、ご家族への周知方法を検討する。
	③㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	☐ 法人内の防災担当者と事業所内の防火管理担当で避難訓練の計画を立て、実施している。(地震、火災など)
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	0	☐ 今年度は、研修等に参加できていないが、事業所内で虐待防止について考えている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100	0	0	☐ 個別支援計画書を作成するにあたり、計画書内に記載している。また、評価等を行う際、ご家族に説明、同意をもらっている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25	75	0	☐ 聞き取りの中で、アレルギーの確認は行っているが医師の指示書を確認することができていない。 ☐ 食事提供を行っていないが、アレルギーは、命に係わる危険性もあるため、再度ご家族の聞き取りを行い、医師の指示書がもらえるかなどの確認を行う。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50	50	0	☐ 毎日の振り返りで挙げたことを、職員間で共有し、すぐに改善している。 ☐ 事例集については、担当職員と改善へ向けて検討する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和3年3月23日

事業所 放課後等デイサービス事業所 輝なっせ

保護者等数(児童数) 43 回収数 34 割合 79 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88.2	2.9	0	11.7	□ 活動様子は、見ていないので、分かりません。	■ 親子参加型の療育開催が出来なかったこともあり、活動部屋を見て頂くことができなかった。 ■ 今後は、活動様子の周知方法を検討する。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	82.3	8.8	0	11.7	□ スタッフ配置など、見ていないので、分かりません。	■ 専門職を配置し、基準を満たしている。 ■ 保護者さんへの周知方法を検討する。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	91.1	0	0	11.7		■ 各部屋の入口は、車椅子が通る際に狭いといった部分はある。エレベーターの設置、車椅子用トイレの設置、段差の解消等、必要な配慮は出来ている。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100	0	0	0		■ アセスメントを基に個別支援計画書の作成を行い日案に組み込んでいる。 ■ 日々の様子については出来るだけ保護者さんとその日の様子を話し、月ごとに記録を配布するようにしている。足りていない部分については、今後も伝える手段を考えていき、良い物を提供できるようにしていきたい。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	91.1	5.8	0	5.8		■ 利用児のモチベーションが上がり、楽しく活動に参加しながら、個々の目標がクリアできるよう、課題や活動設定を行っている。また、利用児の意見を聞く時間を設け、活動に取り入れる日も設けている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29.4	14.7	0	52.9	□ 交流する機会があればいいと思う。	■ コロナ禍ということもあり、児童館へ行く計画を立てることができていない。次年度、利用できるよう検討する。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100	0	0	0		■ 説明会、契約時に詳しく説明を行っている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100	0	0	0		■ 日々の様子や利用児の目標達成状況、支援について、月ごとの記録配布から、毎回記録を配布に変更し、より詳しく伝えられるようにしている。

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100	0	0	0	■ 個別支援計画書を基に、年2回保護者さんとの面談を行っている。また、学校や家庭での悩み事にも直ぐに返事ができるよう、スタッフ間で会議を行い、電話、メール、または送迎時に話をするようにしている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38.2	23.5	2.9	35.2	□ 参加する機会がなかった □ 今のコロナ禍の中で、中々難しいと思う ■ 年に3回程、企画をしていたが、コロナ禍で開催できず、保護者さん同士の交流の場も設けることができなかった。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73.5	5.8	0	23.5	■ 苦情等に対する窓口を設置し、玄関等にボックスも設置している。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100	0	0	0	□ 対応されている ■ 保護者会などの実施はできていないが、利用児と沢山関り、保護者さんとの支援統一に努めた。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	85.2	5.8	0	8.8	□ 活動内容を動画で観れるといいなと思う。 ■ 広報誌への掲載はしていたが、保護者さんの手に渡ることがなかったため、今後はホームページや公式LINEにて、活動様子が掲載できるよう検討する。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	91.1	0	0	11.7	■ 個人情報に関しては、十分注意して行っている。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	91.1	2.9	0	5.8	■ マニュアルの作成を行い、説明会で周知している。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67.6	5.8	0	26.4	■ 防災担当職員と計画を立て、定期的に訓練を行っている。しかし、保護者さんへの周知はできていないので、次年度は周知方法を検討する。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	94.1	2.9	0	2.9	□ 子どもが喜んで行ってくれているのが、親としては何よりです。いつもありがとうございます。 ■ 今後も楽しめるような活動を提供し、子どもさんの成長をサポートしていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	85.2	8.8	0	5.8	□ できることが増えており、感謝の気持ちで一杯です。 □ 休日で朝からの活動については、前もって内容が分かるということです。 □ 外出時、外部との接触など、注意して見えて欲しいです。近づいて物に触れてしまうので、この時期は特に心配になります。 ■ 休日の活動内容は、事前にお知らせできるよう、休日利用日の確認を早めに行い、連絡する。 ■ 感染症マニュアルを周知出来るようにする。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。